

Heroldo de HEL 053-0844

N-ro 75 1998 aŭgsto-septembro

ORGANO DE
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳 方
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO
ĉe AcuSi HOŠIDA
Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 Japanio

ENHAVO

Mia vojaĝo al Monpeliero モンペリエ世界大会に参加して KABAJAMA Juusuke 樺山裕介	2
独断と偏見による Raporto de la 17-a Komuna Seminario KAŬAI Juka 川合由香	4
Raporto de Esperantoklaso ĉe San Francisco Stato universitato en 1998 サンフランシスコエスペラント講習会 参加報告 GONNO Masahiro 権野正浩	6
Kiel sin ekzercu ? SES学習会の感想 AcuSi HOŠIDA 星田 淳	7
HEL図書部販売図書一覧表	8
Danke ricevitaj-受領郵便物	11
Dubindajo en la alvoko per Subskribo Konservi ainajn loknomojn 『アイヌ語地名を大切に!』署名運動 趣意書の疑問 AcuSi HOŠIDA 星田 淳	12
Raporto de la 6-a komitata kunveno de HEL 第6回委員会報告	12
Raporto de la 7-a komitata kunveno de HEL 第7回委員会報告	14
Anonco 道内ミニ交流会開催日程のご案内 エスペラント語入門講習会	15

Mapo - kongresejo -

第62回北海道大会会場周辺図 16

La tagordo de la 62-a Hokkajda
kongreso de Esperanto
第62回北海道エスペラント大会日程 18

El redakto 編集部から

この号がお手元に届くのは、12日か13日
だと思います。

10月21日から11月27日まで職場の研修で
1ヶ月以上東京へ行くことになってしまい
あわただしく、またまた発行予定が遅れて
しまい申し訳ありません。

何とか大会前に出せてほっとしています。
大会会場は、苫小牧市中心部から少し東側
で港(西港)の近く。札幌方面から車で行
かれる方は、18頁の地図を参照して、国道
36号線が道道上厚真・苫小牧線と合流し
てすぐのガソリンスタンドの道を左へ曲が
ってください。

ところで、次号の発行についてどなたか
御協力願えませんでしょうか。機関紙への
記事や原稿についても、次号分は下記へお
送りください(〒001-0045札幌市北区麻生
町1-3-1 3宮沢直人方ロンデタージョ)
(Ejko ABE 阿部映子)

モンペリエは南仏の古い大学町として栄えた所で、その古い歴史的市街の脇に、古代ローマ風の大きな広場が作られ、野外カフェテリアや大道芸、日によってはテクノなパフォーマンスなども催されている。その広場から広い並木道を行くと、大会会場である Le Corum という最新の建物である。

ここまで、パリから鉄道で来た。それまでに会ったエスペランチストは2人だけ。ひとりが大韓航空の飛行機のなかで、bultenoを読んでいるところを見掛けて声をかけてきた朴さんという男の人だ。次が、モンペリエにもうすぐ到着するという頃に、話しかけてきた初老の白人男性だった。その時、エスペランチストならば誰でもわかるように、緑のマジックペンで星と字を画いたTシャツを着ていたのだ。

世界大会に参加するのは初めてで、知っている人は誰もいない。

旅のために取った長い休暇のため、自業自得とはいえ、その前の2週間ほどは働き詰めで、エスペラントもフランス語も、次に訪ねるイタリアの言葉も朝鮮語もほとんど勉強できなかった。大学ではフランス語を選択していて、そのときはかなり練習したつもりだが、もうほとんど覚えていない。ただし、発音のしかただけは自信があった。言いまわしを、テキスト付カセットとウオークマンに仕込んで機内でモノに使用としたが、フライト中に電池が尽きてしまった。ともあれ、それだけのフランス語を駆使(?)してパリで、違う安ホテルで2泊し、ザックを背負ったままパリの有名な所を歩いた。これがヨーロッパか、という実感があつた。

さて、我等が町モンペリエでは、今までと違って思うがままに人とやりとりすることがやっとできたのであつた——という訳にはいかなかった。この大会を通じて聞こえたエスペラントのうち、理解できたのは1割にも満たない。話すのも下手だ。でも話した。何かある所には口出しをした。遊園地のような城がそのまま残っている歴史遺産都市カルカソンヌへの遠足の帰りに、レストランで皆で郷土料理を味わっているとき、隣の老婦人がちょっと声を秘そめて話しかけてきた。「あの人も、ほら、そこの人も、あそこの人も日本人でしょ。ずっと黙っているわ。お話ししないと、来た意味がないし、まちがいを怖れていたらなんにもならないのに。どうしてあんなのかしら？」答えるのに困つたが、彼らは自分たちのグループの外に出るのがいやなのだろうと答えておいた。俺は違うぞ。そういうわけで、私はすくなくともそんな日本からの参加者よりかはましだったのである。もちろん、地元フランスに次ぐ多くの参加があつた日本からの人が、みんなそうであつたわけではない。

なお、この食宴はいい思い出になった。反対側の隣のデンマーク人のゲオルグさんが持ってきたインスリンを無くしてしまい、私の向かいの席の、遠足のガイドのムッシュ・モーリスが食事もそこそこに走り回ったりしたが、フランス流の長い食事のおかげでムッシュ・モーリスも腹を満たし談笑することができた。インスリンは無事に見つかった。料理はちょっとしょっぱすぎたけど。

開会式では、アナン国連事務総長やガリ前事務総長、ユネスコ代表からの mesaĝoj が読み上げられた。(これって、すごいことだと思う。) 開会式の終わりに、ABC順に各国から1人ずつあいさつがあった。Aŭstorioのじいさんが、後の人たちのことも考えず、どうでもいいスピーチを延々と続けるので、会場はざわめき、若い連中からは指笛がとぶ。切りのいいところで、心優しき聴衆は拍手でスピーチを止めようとするが、じいさんはまだ続ける。対称的に、Nederlando代表の青年はっつけんどんに一言だけあいさつすると、すぐ自分の席に戻る。オリンピックの入場行進を見ているときのように面白かった。

会場内の印象は、とにかく白人の老人が圧倒的に多いこと。フランスには黒人が多く、ここモンペリエでもそうだったのだが、ヨーロッパからの黒人参加者は皆無だったのではないか。アフリカからは、ベニン、トーゴ、ガーナ、マダガスカルから来ていて、女性はおとなしく、男たちはパワフルだった。老人が多いことについては、閉会式のときある人がそのことに触れたあと、あいさつに立った L・C・Zaleski-Zamenhof 氏が反論した。「我々は若い。私だって nepo だ。」

遠足は、カルカッソヌの他に、ニームの水道橋や闘技場の観光に参加した。建築民族ローマ人の遺産である。水道橋は高く巨大で、上を歩けるが柵も無いので、何人か落ちて死んでいるのではないだろうか。私は、はいつくばって下の河を見下ろした。モンペリエにも水道橋があり、起点の貯水塔は憩いの場となっている。

ほかに、ぜひ書いておきたいのが okcitanio (フランスの南半分) の文化のことだ。独特の言語や伝統を持つこの地域のことは、プログラムにも組み込まれていた。そのうち、3人の若者による野外コンツェルトの歌声に心を撃ち抜かれた。ヨーロッパよりも、むしろコーカサスの山でこそふさわしいようなその発声。地元の人気歌手のギターと歌に、隣の美形の女の子は束ねた髪を私の顔にぶつけながらノリまくっていたし、別の日には、楽団の笛と太鼓に合わせて私も踊りの列に加わった。しかし、この若者たちの民謡をビール缶片手に立ちすくんで聴いていたときほどの衝撃はなかった。えらいものに遭ったという気がした。

閉会后、汽車を乗り継いでイタリアに入り、フィレンツェを歩き、ローマで文通相手と会った。帰りの飛行機の中で、偶然にも、行きの飛行機で知り会った朴さんと再会した。

モンペリエは、メシはうまいし、ネエちゃんはきれいで、人は友好的で、刺激にも安らぎにも事欠かない良い町だった。この町には大きな犬がやたらに多い。暑い日が続くので、噴水に飛び込んで、一泳ぎして出てきて、体を震ってしぶきをとばしている。

詩学者で俳句を好む Neide、大きな体の Helena、いっしょに宿まで雨の中を走った Karel、一見冷たそうだが、実はパリ郊外のディズニーランドに勤める心優しきドイツ人 Uwe、会話練習につき合ってくれた“Jampi”Ricco、金沢から来た Linさんとその一家、エスペラント界から外への働きかけを熱く語る江川治邦さん、Christian、Hugo、Jose、Andre、Maurice、もうひとりの Maurice、Matilda、Claude、若い男たちからもてまくってたアオヤマさん、朴さん、知り合えて良かった。

寄せ書きに、こう書いた。「次ぎはもっと progresos してくるで！」

Raporto de la 17-a Komuna Seminario

川合 由香

La Komuna Seminario estas somera kunloĝado de junaj esperantistoj de Japanio, Koreio kaj Ĉinio. Ĉijare ĝi okazis en Pekino, ekde 23-a de julio ĝis 30-a. Tio estis por mi unuafoja okazaĵo eksterlanda. La seminario estis tre ĝoja kaj signifoplena. Kaj mi hazarde renkontis maloftan kaj dangantran travivaĵojn, per kiuj mi elkore komprenis "amikecon en Esperantujo"...

<La Batalo>

7月23日19時30分、北京空港着。市内までは約35km。初めて白タクに乗ってしまった。もちろん不本意であったが、合法的なものを見つけることができなかったのである。後で分かったのだが、空港の出口前は白タクのプールになっており、それを泳ぎきった(?)ところが正規のタクシー乗り場だったのだ。

案の定、ボられた。頭に来たがいまは kongresejo にたどりつくことが先決である。私は「ただではすまさん!」とひそかに決心しつつ、相場の4倍弱の言い値を払った。

車を降りたとき、私はトランクから荷物を取り出して、ふたを閉めながらナンバープレート(ふたについている)を見ようとした。すると客引きと運転手があわてて駆け寄ってきて、見せまいとふたを押し上げるのだ。私は二人の男に金的蹴りと頭突きをくらわせ、ナンバーをばっちり確認してホテルへ駆け込んだ。

私は翌日、この晩の経緯を逐一日でしたため(もちろんナンバーも)、中国側主催者代表の S-ro Wang に見せた。そして2日後、彼に通訳してもらって警察に訴えてた。私はこんなことはざらにあることで、取り合ってもらえないのでは、と思っていたが、案に相違してきちんと調書を作ってくれ、くわしく質問された。私の raporto は偽の領収書とともに、証拠として領置された。自慢ではないがその raporto は、私がこれまでに書いた最長のエス文である(便箋5枚)。コピーをとっておかなかったことが悔やまれる。さて、彼らは捕まるだろうか…?

<Impreso de Pekino>

北京の街には終日、車の警笛が飛び交っていた。車の洪水の中を、自転車にリヤカーを連結して、果物を満載して走っている人もいる。それなのに、信号機や横断歩道というものが非常に少ない。過疎地に慣れた私は目が回りそうだった。

中国人参加者に何度か「北京の印象は?」と聞かれた。「半分気に入って、半分気に入らない。」と私は正直に答えた。「好きなのは、人々の活気があふれているところ。半分嫌いなのは、初日に白タクにボられたから。」という、「えっ、あれはあなただったの!?!」といわれた。日本人参加者の一人が白タクにボられてそれを警察沙汰にした、ということはすぐに参加者のうわさとなったようだが、当事者が私=女性というのは皆には驚きだったらしい。「Jes. Mi batalis kontraŭ ilin kaj venkis!」とガッツポーズをしてみせると、相手はたいてい絶句した。

<Malbona ekzemplo>

たまたま私が唯一の日本人女性参加者だったが、中国・韓国の参加者に、私をみて「日本人女性は〇〇だ」と思われたらえらいことになる。(←HELの皆さんのうなづく顔が想像される)

komencanto のクラスに出たら、S-ro Instruisto がなぜか私を助手兼練習台に指名した。私が自分について何か話し、皆が質問するように、とのこと。私が「Mi havas unu edzon kaj katon.」というと、その unu がおかしいと笑われた。で、「いや、Se eblas, mi deziras havi plurajn edzojn kaj disuzi ilin laŭcele.」というと一同爆笑。「それは日本人女性の平均的意見か？」と質問が飛び出し、あわてて「Ne, ne!」と否定したが…実際のところはどうかだろうか。

<Delikata demando>

異なる3人の参加者から、「日本では多くの女性は結婚したら仕事を辞めるそうだが、なぜか？」と聞かれた。私は専業主婦の存在を前提とした男性の長時間労働・転勤などの労働慣行や公的な育児支援の貧しさの前に挫折する女性が多いのだ、という意味のことを答えたが、これは十分な答えではない。未練や疑問を持たずに辞める女性も多いが、私にはその理由は説明できなかった。

<Fako>

しばしば「Kio estas via fako?」と聞かれた。だんだん「"fako"は、日本語の"専門"とまったく同一の意味ではない」と分かってきたので、途中から「Miaj fakoj estas 1.forstkulturo 2.rusa lingvo 3.drinkado 4.viroj.」と答えることにした。

これを聞いた Internacia Agrikultura Esperanto-Asocio の代表のかたから「熱烈歓迎」されてしまった。入会申込書と機関誌を1部もらった。「ぜひ何か寄稿してくれ」と迫られ、いま悩んでいる。

<Hospitalo>

疲れがたまってるな—と思っていたら、27日の晩、ぶっ倒れてしまった。すっかり寒冷地仕様になった私は、北京の暑さには耐えられなかったようだ。宿のかたがたがツボの指圧などの民間療法を試みてくれたが、ときどき呼吸が止まったりしたので、夜半、東京から来た S-ro 中村と茨城の S-ro 大鋸、上海から来た S-ro Zhou に病院へ連れていってもらった。

受付で妙に長時間待たされたのには閉口したが、2人の女医さんによる診察はいいねいであった。常用している薬を説明せねば、と思い、紙に「trankviligilo」と書いた。これは S-ro Zhou が問題なく通訳してくれた。しかしリチウム製剤（感情の起伏を抑える）は…私は紙に「LiCO₃」と書いた。お医者さんは了解してくれたようだ。万国共通語はありがたい！

西洋薬の trankviligilo と謎の漢方薬（暑気あたりに効く、といわれた）をもらって帰った。なぜか寝袋持参で KS に来ていた S-ro 中村が、私にベッドを譲って寝袋で寝てくれた。申し訳ない。

<Samideano>

いろいろな人にお世話になった KS だった。私は S-ro Wang、S-ro 中村、S-ro 大鋸、S-ro Zhou に、「Mi kore dankas kaj pardonpetas...」といった。彼らは示し合わせたかのように、「Ne dankinde, ĉar ni estas samideanoj!」と答えてくれた。ふだん決まり文句として無造作に使っていた samideano ということばが、このときほど暖かく思われたことはなかった。Esperantujo における samideano ということばの意味と、E-isto であることの幸せを、身をもって実感できたことが、初めて参加したこの KS の、私にとってのいちばんの収穫であった。

GONNO Masahiro 権野 正浩

Unue, mi dankas pro via monofero.

という訳でサンフランシスコのエスペラント夏期講習の報告ですが、講習の内容については日本で習うこととかわりありません（エスペラントを習っているのだからあたり前ですが）。ただ、原則的にエスペラントでエスペラントを教えます。

講師の方々は熱意もあり、教え方もうまいです（これも彼らは profesiiulojだからあたり前ですが）。

生活の方もエスペラントで十分に用がたせます。（これもエスペランチストの中にいるのだからあたり前ですが）。

もし英語が必要な時は英語の話せるエスペランチストに助けてもらえます（例えば大学側と話をしたりとか、大きな買物をする時等）。

大事なことは、エスペラントが共通の言語だということを認識すること（これもあたり前すぎるほどあたり前のことですが）。

どんなに言葉（単語）を知らなくても、どんなに稚拙な表現であっても、伝えたいことがあって、伝えたい相手がいれば、相手に理解してもらうことはできるんだということを知ることだけだと思います。

この2つさえあれば、サンフランシスコのエスペラント夏期講習に参加することによって格段にエスペラント力のはのびますし、国内か国外かを問わず、外国人エスペランチストと話すこと（もちろんエスペラントで）が苦痛ではなくなります（まあ中には話してもつまらない奴もいますが）。

私もサンフランシスコで koverta がわかんなくて、Ĝi estas papera sako. Mi deziras leteri. 等々いろんなことを言って説明したりしてました。

そのこともいい学習になったと思います。

まことに簡単ですが以上を報告いたします。

もっといろんなことが聞きたい方、知りたい方は、御一報ください、いつでもお話をさせていただきます。

Kiel sin ekzercu?

SES 学習会の感想

HOŠIDA Acuŝi

9月26日午後かでの2・7にて。去年は Ce- Metodoをまねて tute esp-e をめざすため、程度を下げたが、下げすぎたようです。今年は一転、「関係詞」がテーマ。講師(私)に若干誤解がありました。「相関詞」つまり Zamenhofa Tabelo 全体について、と考えたため。戸惑った方があったようです。すみません。今度は日本語で説明。

いくつか基本的な点での誤りの例を見ましょう。

* (私の) 息子が生まれた日は雪でした。

×La tago neĝis, kiam mia filo naskiĝis.

○Neĝis(en la tago), kiam 一同上一。

天気を表す動詞neĝi, pluviなどは主語なしで使います。tagoが主語にはなりません。

*ほえる犬はかまない。

×La hundo ne mordas kio bojas.

○Hundo, kiu bojas, ne mordas.

=Kiu hundo bojas, tiu ne mordas.(ことわざでよく使う言い方)

Kiu, tiu, —と Kio, tio, — について:

ものの正体(何か、どんなものか)がはっきりしない時、またははっきり言わないときは kio, tioなど -o 系の言葉を使い、物や性格がはっきりしたものを、同類のほかのものと区別して指すときは(この、その、等) kiu, tiuなど -u 系の言葉を使います。関係詞のときも同様です。

* (これは) 誰の傘ですか?

×Ĉu tiu ĉi ombrelo kies ombrelo?

○Kies ombrelo(estas tio)?

Jes か Ne で答えられる質問のときは ĉu, 説明させる質問のときは ki-系の疑問詞を使います。一つの疑問文にこの二つが同居することはありません。

Plena Vortaro(PV) や Plena Ilustrita Vortaro(PIV)には「この単語はこう使う」と、用例がたくさん出ています。これをよく見てください。本を輪読しても、意味が分かればよし、と翻訳だけで終わってはい自分の力になりません。辞書の用例を使って自分で文を作ってみる、自分で表現することが大事だと思います。



はじめまして。

今年産声をあげた、勝浦小学校エスペラントクラブです。本州最南端に位置する和歌山県。黒潮にめんした港は生マグロの水揚げ日本一。こんなところにある私たちのクラブに、お葉書いただければうれしいです。

〒649-5334

和歌山県東牟婁郡勝浦町勝浦816

勝浦小学校エスペラントクラブ

TEL 0735-52-0116



エスペラントでハガキを出そう!

エスペラントも使わなければ理解できない謎の言語になってしまう!

NO	A:書籍名	定価	在庫冊数
001	Ainaj Jukaroj (1988)	1.000	6
002	Ainaj Jukaroj (1989)	1.000	14
003	Ainaj Jukaroj (初版)	300	53
004	Antologio de amoro	800	2
005	Armeoj de Paluzie	2.200	1
006	C^inaj Klasikaj Poemoj Ilustritaj	200	15
007	Cikatro de amo	900	1
008	Deklingva Manlibro pri Politiko	1.600	1
009	Do kant' al kanto 2	300	2
010	Do kant' al kanto 3	300	3
011	Egaleco kaj paco per Esperanto	2.200	1
012	Ekparolu esperanton!	1.200	1
013	el la vivo de bervalo sentau^gulo	1.200	1
014	Enkonduko al problemsolva originala KJ- metodo	500	1
015	Esperanto -lingvo. literaturo. movado	1.500	1
016	Fabeloj de la verda pigo	2.100	1
017	Finalo 73	100	1
018	Gimnastiko por cerbo	700	1
019	Historieto de Japana Esperanto-Movado	950	1
020	Japana variacio	1.000	1
021	Japanaj Vintraj Fabeloj	900	1
022	Kaj kio poste?	350	2
023	Kapric^o 70	100	1
024	Kial venkis Esperanto?	50	1
025	KLEG 40 年史	400	1
026	Klera edzino	2.200	1
027	kruc^o da sag^eco.La	800	1
028	Kumeuaua. la filo de la g^angalo	1.200	1
029	Kvinteto 69	100	1
030	La ARBO 木が逃げた	1.250	1
031	La vojug^oj al la sudaj insuloj	200	3
032	Ludoviko Zamenhof: esperanto-lernolibro kun ekzercoj por progresantoj	1.700	1
033	L' omnibuso kun la tri pasag^eroj	800	1
034	Malvasta kag^o	1.000	1
035	Manifesto de Prago (ブラハ宣言 各国語版)	200	107
036	Mi amas	700	1
037	Mi vizitis grandan urbon	1.000	1
038	Milito kontrau^ salamandroj	1.300	1
039	morta suito.La	2.000	1
040	Mrguda	350	1
041	Nesto de Viperoj	1.200	1

NO	A:書籍名	定価	在庫冊数
042	Nokto de la Galaksia Fervojo	1.400	5
043	Nova Mondo	460	1
044	Nudpieda Gen	2.200	1
045	Postmilita Japania Antologio	3.000	1
046	Prio	500	1
047	Propono por la leg ^o pri la Aina Gento -アイヌ民族に関する法律(案)-	50	45
048	revizoro.La	800	1
049	Salome	100	1
050	Sarkasme kaj entuziasme	1.500	1
051	Sascha c ^h e karlskoga popola altlernejo: Esperanto-lernolibro kun ekzercoj por dau ^g rigantoj	1.200	1
052	Soneto 72	100	1
053	Spartako	1.700	1
054	stratoj de As ^h kelono.La	400	1
055	Studoj pri la esperanta literaturo	1.650	1
056	stultaj infanoj.La	1.900	1
057	Sur placo de c ^h iela Paco (Kasedo) テープ	2.100	1
058	Venu Amikoj	80	1
059	Verdaj Donkijotoj	2.300	1
060	Verkoj de Miyamoto Masao 3	4.500	1
061	Vilag ^o en bataalkampo	50	6
062	Volvotigo de amikeco	750	1
063	vorto-mozaiko (ゲーム)	500	2
064	МЕТОДИЧЕСКИЕ РАЗРАБОТКИ ПО ЯЗЫКУ ЭСПЕРАНТО(テキスト)	500	11
065	ЭСПЕРАНТО-РУССКИЙ ТЕМА VORTARO esperanto-rusa (辞書)	500	12
066	ЭСПЕРАНТСКО- РУССКИЙ И РУССКО-ЭСПЕРА НТСКИЙ СЛОВАРРА (Esperanto-rusa kaj Rusa - Esperanto Vortaro)	500	9
067	エ: エスペラント四週間 (古本)	400	1
068	エ: エスペラント小辞典	3,990	2
069	エ: 新エスペラント講座 第1巻	800	7
070	エ: 新選エスペラント辞典	1.400	5
071	エ: 日本語エスペラント辞典 (普及版)	4.800	3
072	エ: 和エスペラント辞典	900	5
073	エスペラントのための会話独習入門	700	3
074	エスペラントのための外国旅行入門	700	5
075	エスペラントは世界を結ぶ	1.200	7
076	エスペラント体験	750	3

NO	A:書籍名	定価	在庫冊数
077	おまけの旅・ハンガリー	1,500	1
078	スーホの白い馬への旅	1,300	1
079	ひとすじのみどりの小径	1,500	1
080	闇を照らすもうひとつの光	1,200	2
081	宮沢賢治とエスペラント	800	9
082	宮本正男作品集 4	4,500	1
083	近代日本における国際語思想の展開	300	1
084	言語学と国際語	1,000	1
085	講習会のやり方	600	1
086	中3人おかれた人	600	1
087	日本エスペラント學事始	900	3
088	文法の散歩道	700	1
089	Realo kaj Garantioj de la Sekura Mondo	200	3
090	Dokumentoj kaj Materialoj	300	2
091	Oktobro kaj la rekonstruo: la revolucio dau^ras	200	2
092	La senmorta Glorago de la sovetia popolo	200	2
093	Respondoj de Mihail GORBAC^OV al demandoj de la Jurnalo l'Humanite	200	2
094	Renovigan ideologion por la revolucia rekonstruo	200	2
095	La Sentimulo (古本)	300	1
096	Tom kaj Tina (古本)	150	1
097	Nesenditaj Leteroj el Japanio (古本)	250	1
098	Du neg^eroj (古本)	400	1
099	Notoj pri la Delto (古本)	400	1
100	文法の散歩道 (古本)	350	1
101	マテオ・フェルコネ (古本)	60	1
102	国際文化情報誌 地球人時代 No.4 (古本)	150	1
103	エスペラント La Revuo Orienta 1998, 1号	0	1
104	Liza kaj Pau^lo (カセット付)	5,500	1

ご注文は、図書部まで

ロンデタージョには、図書を常設展示しておりますので、いつでもおいでください。さらに電話でご注文いただければ、郵送もいたします。その際、郵便振替用紙を同封しますので、書籍代及び郵送料をお振り込み下さい。

HEL 図書部：TEL/FAX 011-717-4189 札幌市北区麻生町 1-3-13. 3F

*LA TANTAMO: 第292号(1998年6月号)

横浜エスペラント会(JER), A4 X 8頁、日本語。

*Novajoj Tantamas:n-ro 138, junio 1998, 横浜エスペラント会(JER), A4 X 4頁、全文 ESP.

Pri mia vojaĝo al Japanio は3ページにわたる S-ino Stanisława Krzywdziriska el Pollando の旅行記(第1回)。

*Novajoj Tantamas:n-ro 139, julio 1998, 横浜エスペラント会(JER), A4 X 4頁、全文 ESP.

前号に続いて S-ino S.K. の旅行記が大部分。神戸—京都から新幹線で横浜へ来、熱海、鎌倉をエスペランティストの案内でまわる。

*LA TANTAMO: 第293号(1998年7月号)

*受講生通信 第60号 1998-07-01: 沼津エスペラント会通信講座: B5X 12頁のうちエスペラント文合計1ページ強。催しもの欄に10月の北海道大会の予告。

*Mejlŝtono 1998/jul. n-ro 148, 仙台E会: B5X 8頁のうちエスペラント文半頁。東北大会予告ニュースに「セルゲイ・アニケイェフ先生は東北大会初登場です。すごくいい人!」とある。

*VOJO SENLIMA N-ro 141. julio 1998, 熊本エスペラント会. B5 X 8頁のうちエスペラント文は2頁。この前号(N-ro 140 marto 1998) で出た S-ro 野村宛の私(星田)のはがきがヒントになったらしく私の出身校(県立八代高校) エスペラント部の活動記録が紹介されている。なおエスペラントを通じてスウェーデン文学者になった万沢まきが県立第一高女(現第一高校)の出身ということ初めて知った。

*VERDA MONTETO: Julio, Aŭgusto 1998, 和歌山, N-ro 101; 変形B5版 X10頁のうちエスペラント文は4頁半。4ページにわたって E-日対訳で出ている中国の王天義の「エスペラントの商業活動への実用」には考えるべき問題がありそうだ。かって短期間に何百万人も学習者を集めたブームが去った中国で、「片手間の趣味でやっている、いったい何の役に立つのか」と言う大衆の批判に答えられない」と、本職としての商業・観光にエスペラントを生かして使おうと努力し、少しずつだが成果をあげている。

江川治邦の Ruĝa Pluvo の連載が始まった。和

歌山大空襲の体験記。

*PONTETO 1998年9月号 N-ro 171, la 15an de septembro, 1998: 関東エスペラント連盟: B5X 8頁の内Esp. 文はキューバからの手紙1頁。

*NOVA VOJO: 1998. 9(N-ro 333 septembro), 大日本エスペラント普及会(EPA), A5 X36頁中エスペラント文8頁半。第83回世界エスペラント大会(フランス Montpeliero) 関係記事が写真を含めて11頁ある。

*Mejlŝtono 1998/9, n-ro 149, 仙台E会: B5X 10頁のうちエスペラント文6頁。

*センター通信: 1998年9月7日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro 205, B5X10頁の内エスペラント文3頁弱。

*La Movado N-ro 571 sep. 1998, B5版16頁の内 Esp. 文は4頁半。対訳「窓際のトットちゃん」(黒柳徹子作・小西岳訳)の連載が始まった。

Mikspoto欄に北海道からの記事が三つ(小樽の学習会・釜崎パトロール会・Laborista Solidar-eco)出ている。

*Eskalo 75号 1998年9月、川崎エスペラント会、B5X 8頁のうちエスペラント文4頁半。内2頁半は会員2名が参加した Rijeka/Kroatio での IJK(国際青年大会)の報告。かわさきは Rijeka の姉妹都市。今回は Rijeka 市長の配慮で、姉妹都市からの参加者の参加費(宿泊費、食費)は全部無料になったとのこと。

*VERDA MONTETO: Septembro, Oktobro 1998, 和歌山, N-ro 102; 変形B5版 X10頁のうちエスペラント文7頁と高率なのは対訳2編(ベトナムの対仏レジスタンス時代を語った La nepinoj de la naciaj herooj TRUNG kaj TRIEU と LA MALGRANDA SORĈISTINO) と連載中の Ruĝa Pluvo のため。

*La Movado N-ro 572 okt. 1998, B5版16頁の内 Esp. 文は3頁。モンペリエ世界大会参加記2編2頁(日本語)。タニヒロユキが UEA 新会長 Kep Enderby について一文。労働党出身のオーストラリア元法務大臣で SAT 会員の彼が、21世紀を前にして UEA 会長になった意義を指摘。そういえば 1989年以來1期中断を除いて4期8年 JEL 理事長を勤めているヤマサキセイコー氏も現役の SAT 会員だった。

Dubindajo en la Alvoko por Subskribo
Konservi ainajn loknomojn

『アイヌ語地名を大切に！』

署名運動趣意書の疑問

HOŠIDA Acusi

Noto de la tradukinto de la Alvoko,

HOŠIDA Acusi:

La tradukinto iom mallongigis redundancajn esprimojn kaj forigis ne fidindan pretendon, ke la ainoj por la unua fojo nomis loknomojn en Hokkajdo, do ne ekzistis praloĝantoj antaŭ ainoj. Lastatempe oni trovis relikvojn de paleotikaj homoj en Hokkajdo kaj komencas ilin esplori kaj studi.

7月18日には「『アイヌ語地名を大切に！』市民ネットワーク」が発足しました。署名運動も始まったようです。趣意書には若干疑問も（個人的には）感じますが、この運動には協力できると思います。

疑問とは、趣意書にある次の箇所です。

「さらに私たちが忘れてはならないのは、北海道の自然は、アイヌ民族がそれを初めて識別し、地名をつけたものであることです——」そうだとするとアイヌ以前に地名を付けた先住民はいなかった、となるが、証拠があるのだろうか。最近の調査では縄文以前の旧石器人も大陸から北海道に来ていることが明らかになっており、この趣意書のような断定はできないと思います。今、新十津川では発掘調査が進んでいますね。

HEL事務局の求めによりこの趣意書を全訳しましたが、この点については疑問があることを付記してあります。

第6回委員会報告

Raporto de la 6-a komitata kunveno de HEL

[日時] 9月19日（土）午後6時～9時50分

[場所] ロンデダージョ（札幌市北区麻生1）

[出席者] 星田 淳、サトウエイジ、後藤 義治、
宮沢直人、阿部 映子、鈴木佳子、
権野正浩

[議事内容]

* 総会議案書の審議、検討

98年度事業報告

99年度事業提案

事務局がたたき台として作成し事前に委員に送付した議案書を検討。

なお、99年度事業提案として、規約（財政）の改正を総会に提出する。前回委員会では話題となった（組織）については、現行のままとする。

規約第8条（財政）

（現行）この連盟の会費（年額）は、会員3千円、家族会費1千円、購読会費2千円とする。会計年度は暦年とする。

（改正）この連盟の会費（年額）は、会員3千円、青年会員（26歳未満）1千5百円、家族会費1千円、購読会費2千円とする。会計年度は暦年とする。

↓

総会議案書について検討し、内容や文章の一部を削除、手直した。かなりの頁数となるので、総会参加者には事前送付して、総会で全てを読み上げることはしない。

規約改正については、道大会前にもう1回委員会を開催し（10月8日（火）午後6時、場所はロンデダージョ）、再度討議する。

* インターネットのホームページ開設

年間6,000円かかるが、他のホームページの軒を借りるのではなくHEL独自のものを開設する。

担当委員は今回の委員会には参加できなかったが「インターネットに北海道エスペラント連盟のホームページを10月中旬に開設する予定。それまでの間、仮のホームページとして横山個人のホームページに、北海道エスペラ

ント連盟のホームページを開設した。現在の内容は、北海道エスペラント連盟の歴史、各ロンドの紹介等で今後内容を充実していく予定（まだ各グループからの紹介文が届いているのは少ないので、関係各位に再度、周知徹底されることをお願い致します。投稿方法については、Heroldo de HEL N-ro 73に掲載しましたよね。）。また、世界の主要なエスペラント組織を検索できるサイト及び道内のエスペラントに関するサイトにリンクしている」との連絡がありました。

* 次年度役員人事について

現在、規約では委員会構成について「委員長1名、事務局長1名、会計委員1名、および各構成団体、個人会員の中より選出される委員」となっており、昨年選出の体制は「委員長」の他「事務局長、事務局次長兼図書部長兼PT担当、教育部長、機関誌部長、会計担当兼札幌、道南、苫小牧、道北、学生・青年、室蘭、岩見沢、インターネットによる広報兼アイヌ語」の12名の委員と「会計監査」1名が選出されている。「顧問」は3名、また、自由に提言する機関としての「PROJEKTA TEAMO」がある。さらに委員ではないが、事務局員1名。

現委員で多忙のため活動できない者もあり、事務局に負担がかかっている。大会で委員に立候補してくれる人がいればいいのだが、そうでない場合に備えて、委員を引き受けてくれないか今から何人かに打診する必要がある。

* 道大会プログラムについて

テーマは、「希望する人」の言葉で世界を結ぶー苫小牧発ー

10月12日～16日札幌でエスペラント入門講座開催

10月17日、青年エスペラント交流会

ウラジオエスペラント会からの参加者を中心に、自由な質疑、意見、経験の交流（青年となっているが、年齢にはこだわらず広く参加ーエスペランチストは、皆青年の気持ちを持って）

10月18日、HEL総会、エスペラント祭。

エスペラント祭は、昨年と規模は比較にはならないが、国際交流市民グループなどの展示・発表も企画したい。市民向け講演会は、「極東ロシアとこれからの日本～21世紀は向けて」「人権としての言語圏ーアイヌ語・日本語・エスペラント」（いずれも仮題）等を考えている。パネラーを呼んでパネルディスカッションを行いたい。

↓

パネルディスカッションを行うために「アイヌ語地名を大切に！」市民ネットワークの代表やその他何人かに、参加を依頼することを考える。打診して、次回委員会までに、正式に決める。

時間割については、10月17日(土)は、13時会場として図書販売を行い、15時開会。パンケードは、引き続き会場（苫小牧港労働者福祉センター）で行う。

10月18日(日)は、9時会場9時半または10時開会。午前はHEL総会、午後からエスペラント祭。時間詳細は、次回委員会で、正式に決める。

* 感謝状贈呈について

近年のHELの行事には、セルゲイ・アニケエフ氏が講習会講師として参加してくれている。また同氏がエスペラント活動を行うについては同氏の勤務する極東大学函館校の理解が欠かせない。エスペラント講座の会場提供にも同校は協力してくれ、それが函館の地方会復活につながった。道大会で感謝状を贈呈し感謝の意を表わしたい。

↓

贈呈の方向で検討。文面等を考えて、次回委員会で、正式に決める。

* 機関紙発行について

75号は、9月30日原稿締切、10月5日頃の発行を計画。頁数は、16または20頁。

編集者が、10月21日から11月27日まで職場の研修で東京へ行くので、76号の発行（11月末または12月始めの発行を予定）については誰か協力願いたい。

第7回委員会報告

Raporto de la 7-a komitata kunveno de HEL

[日時] 10月8日(火)午後6時～8時30分
[場所] ロンデダージョ(札幌市北区麻生1)
[出席者] 星田 淳、サトウエイジ、後藤 義治、
宮沢直人、川合由香、児玉広夫、
阿部 映子、鈴木佳子

[議事内容]

* 98年度決算報告、99年度予算案、財産目録の審議、検討

会計担当が作成し事前に委員に送付した上記について検討。

99年度予算案のうち、第62回(今回)道大会の金額を一部修正(縮小)した以外は、この98年度決算報告、99年度予算案をそのまま大会で発表する。

* 規約改正

前回委員会で決まったとおり、規約第8条(財政)の規約改正を大会で提案する。なお、人事に関連して、現在は委員長、事務局長、会計委員、委員となっているが、副委員長をおくことも考えたい。役員人事の結果次第であるが、規約改正も検討する。

* 道大会HEL総会議案書

事前に郵送する。全部を総会の場で読むのは時間がかかりすぎるので、事前に読んでてもらい会場では簡単に説明する。なお、エス文での要約も作成する。

* 次年度役員人事について

現在、何人かに打診している。

地方委員については、今現在これといった活動がなくても、その地方で何か実施したり連絡したりする時の核となっただきたい。道央以外にエスペランチストがいるということだけでも対外的には重要。(川合委員から地方委員の役割について質問があった。)

* 第62回道大会参加申込み状況

この場において参加すると話している委員でもまだ申込み手続きをしていない者もいて、正確な人数は確認できていない。はっきりしない会員に対しては電話等で確認する。

* 第62回道大会のプログラム

18頁のとおり

なお、懇親会(バンケード)は、会場で引き続き行い、飲食物は地元会員が用意するので参加費は、1人2,000円程度の予定。宿泊申込で夕食も申し込んでいる人については飲物代程度により安く設定する。

* 感謝状贈呈について

文面については、事務局で作成。委員長と打ち合わせて、大会に間に合うように感謝状を作成して、贈呈を行う。

* J E J 合宿とHEL新年講習会

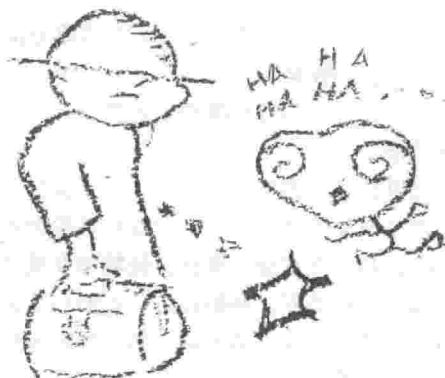
J E J (日本青年エスペラント連盟)の1月号機関誌編集を兼ねた合宿を北海道で行う計画がある。できるならHEL新年講習会と合同で合宿を行いたい。

1999年1月8(金)9(土)10(日)

大会後の新委員が行う行事だが、現委員としては異存ない。合同開催の方向で検討する。正式に決まったなら、次号の機関紙に載せて参加を呼かける。会場は、今年のHEL新年講習会と同様ロンデダージョ(札幌市北区麻生1)の予定。

* 機関紙発行について

予定より遅れて、10月8～10日頃発行。20頁で、大会会場への地図等も載せる。



第 62 回北海道エスペラント大会
道内ミニ交流会開催日程のご案内

日時	内容	会場
10月10日 (土) 15:00～	〔函館市〕 函館エスペラント Rond 及び連盟主催 ミニ交流会「姉妹都市を結ぶ市民交流を」 参加費 2000 円 問合せ先:岩井 TEL 0138-46-1900	民宿のんのん 函館市大手町 7-7 TEL 0138-27-2818
10月12日 (月) 19:00～	〔苫小牧市〕 苫小牧エスペラント会 訪問・交流 問合せ先:星田 TEL 0144-74-2539	
10月14日 (水) 13:00～ 18:00～20:00	〔小樽市〕 小樽エスペラント学習グループ訪問・交流 小樽エスペラント協会及び連盟主催ミニ交流会 「極東ロシアと小樽の市民交流を考える」 参加費 1000 円 問合せ先:TEL 011-717-4189	小樽市生涯学習プラザ 小樽市富岡 1-5-1 TEL 0134-24-3363 たこやき たこべえ TEL 0134-32-1738 小樽市花園 5 丁目 8-15 (入船 交番近)
10月19日 (月) 19:00～	〔札幌〕 SAT(サート)札幌 主催講演会 「極東ロシアと北海道の青年交流をめざして」 問合せ先:TEL 011-717-4189	ロンデタージョ 札幌市北区麻生町 1-3-13, 3F TEL 011-717-4189

ロシア人の講師と一緒にエスペラント語を勉強してみませんか？

エスペラント大会直前特別企画 **エスペラント語入門講習会**

期間：10月13日(火)～16日(金) 毎日 19:00～

会場：札幌市北区麻生町 1-3-13, 3F ロンデタージョ TEL/FAX 011-717-4189

(地下鉄南北線 麻生駅下車 徒歩 4 分)

講師：アレクサンドル ティタイエフさん、アンドレイ シピロフさん

お二人は今回の大会のためにウラジオストックより来られました。日本語は全く話せません。

尚、日本人の助講師もつきます。

参加費：600 円

エスペラントって何？

その昔、「銀河鉄道の夜」などで知られる宮沢賢治も学習した言語です。地球上の様々な民族が平和に、自由にコミュニケーションできるようにとの願いを込めて、1887 年に創案された国際語で、普通の人でも簡単に学べ、豊かな表現ができるよう工夫されています。

その使用者は現在およそ 100 万人。特定の国や地域との結びつきがないかわり、世界 120 ヶ国以上をカバーする独自のネットワークを持っています。

申し込み、お問い合わせは TEL/FAX 011-717-4189 北海道エスペラント連盟事務局

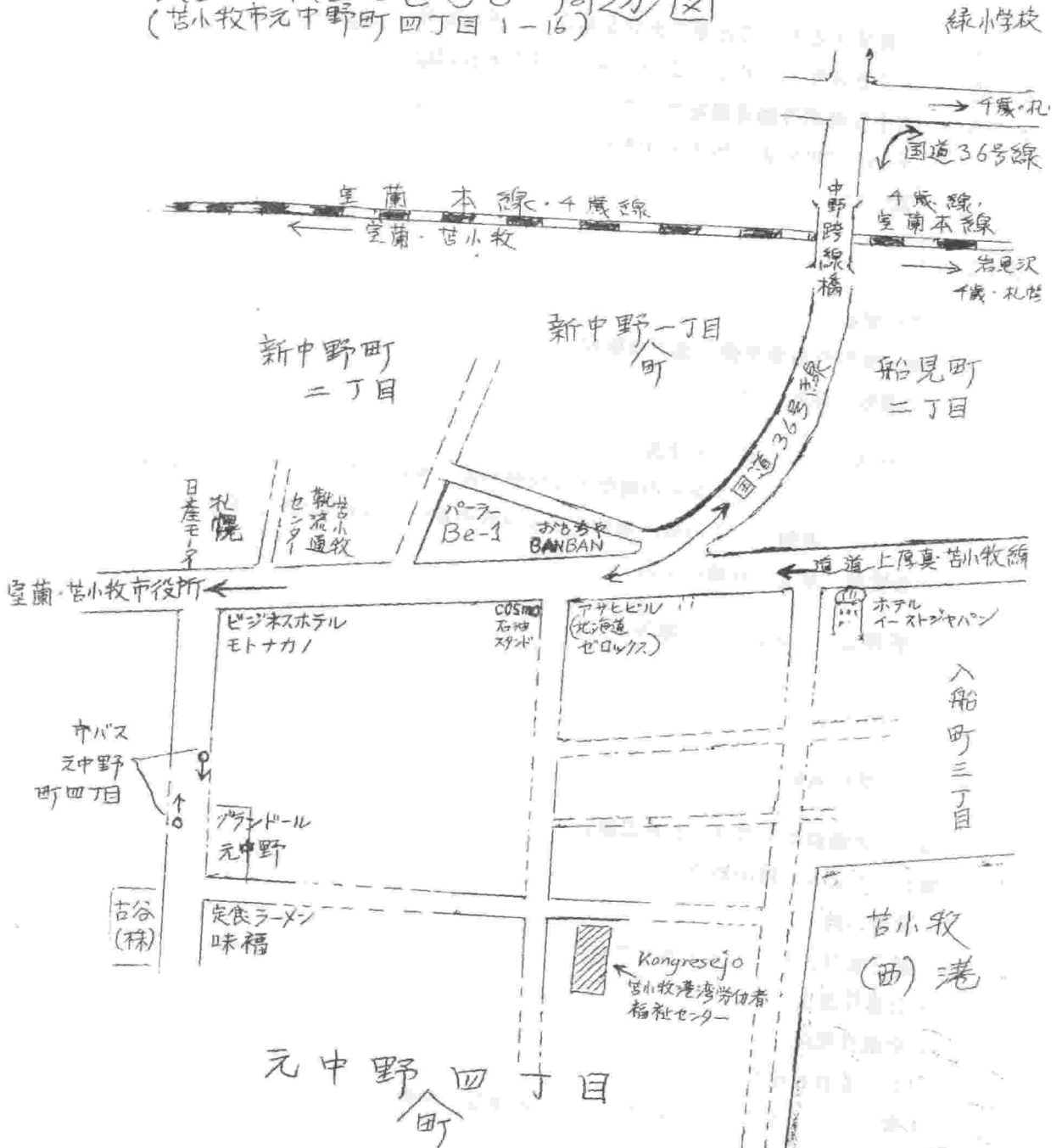
車でこられる方は「KONGRESEJO周辺図」をご覧ください。36号線から浜側三百メートルぐらいでしょうか。札幌方面からバスで来る方は緑小学校前で下りてタクシーをつかまえばいいでしょう。苫小牧駅に着く方は市営バスターミナルから市営バスが便利です。14線西文化公園線では元中野4丁目まで7分ですが午後3本だけ。23港町線の市役所廻りは1日8本、所要時間8分、同市立病院廻りは1日9本、所要時間16分。元中野4丁目バス停から KONGRESJO 迄は徒歩で5分ぐらいです。

苫小牧市



第62回北海道エスプラント大会

KONGRESEJO 周辺図 (苫小牧市元中野町四丁目 1-16)



LA TAGORDO DE LA 62-A HOKKAJDA KONGRESO DE ESPERANTO

第62回北海道エスペラント大会

テーマ 「希望する人」の言葉で世界を結ぶ — 苫小牧発 —

とき 1998年10月17日(土)～10月18日(日)

ところ 苫小牧港湾労働者福祉センター

〒053-0005 苫小牧市元中野町4-1-6

☎0144-32-7273

第1日 10月17日(土)

13:00 受付開始

展示資料作成等準備(協力者歓迎)

図書販売開始(両日)

15:00 青年エスペランチスト交流会

ウラジオストックからの講師より問題提起「青年を取り巻くロシアの現状とエスペラント運動」。その後、海外及び道内外の青年(?)エスペランチストによる自由な質疑、意見、経験の交流。

18:00 懇親会(パンケード、歌等)

第2日 10月18日(日)

9:00 受付開始

9:30 北海道エスペラント連盟総会

開会(LKK 樺山裕介)

歓迎の辞

開会宣言, La Espero

大会議長選出

大会議長挨拶

HEL委員長挨拶

来賓(ウラジオストックE会, JEI理事長)挨拶

地方会挨拶・活動報告

SES, SAT, TES, 函館, 小樽

各大会等参加者報告

世界大会, 日本大会, コムナセミナリーオ, サンフランシスコ講習会

HEL活動報告，会計報告，監査報告

提案，審議

(HEL活動方針，予算案，規約改正，その他)

HEL役員改選

次期大会開催地決定

議長解任挨拶

閉会(LKK 樺山裕介)

閉会挨拶，La Tagigo

記念撮影

12:00 昼食，休憩

13:00 エスペラント祭

エスペラントグループ，国際交流，市民グループなどの展示・発表

市民向け講演会と討論会

「人権としての言語権 —アイヌ語・日本語・エスペラント—」(仮題)

講師 「アイヌ語地名を大切に！」市民ネットワーク代表 小野 有五

日本エスペラント学会理事長 ヤマサキセイコー

北海道ウタリ協会 小川 隆吉

「国境なき時代の北海道・サハリン(樺太)を歩いた探検家松浦武四郎」(仮題)

報告 「松浦武四郎の道研究会」代表 梅木 孝昭

「極東ロシアとこれからの日本～21世紀へ向けて～」(仮題)

パネラー ウラジオストックエスペラントクラブからの来賓

ロシア国立極東大学函館校助教授 セルゲイ・アニケイエフ

北海道エスペラント連盟委員長 星田 淳

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

図書部より

三澤正博さんより以下の書籍とレコードの寄付を戴きました。誌上をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

『Historio de Esperanto 1887-1913』

『Historio de Esperanto 1914-1933』

『Historio de Esperanto 1934-1960』

『弔銃～戦禍のクロアチアから～』

レコード：Ĉu vi parolas Esperante? ポーランド製



人工的につくられた

国際語エスペラント。

北海道は日本における

エスペラント運動の拠

点の一つになってい

る。札幌や小樽など八カ所

で学習会

が開かれ、「アイヌ神話集」

の翻訳

や道内の観光ガイドブック

の作成を

手掛けてきた。

今年

の北海道エスペラント大会

は、十月十二日から一週間、

苫小牧

市を主会場に

開催される。

準備に走り

回っている道エスペラント連盟の星

田淳委員長(66)も、苫小牧市在住

は、エスペラント語にかかわって五

十年になる。苫小牧で学習会を組織

し、教えずも二百人以上になる。

今回の大会テーマは「希望する人

の言葉で世界を結ぶ」。討論会では

道内の地名をアイヌ語と日本語で並

列表記する問題と、日本と極東ロシ

アとのエスペラント語を利用した新

しい国際交流が話し合われ、ロシア

からもゲストが招かれる。

地球語

星田さんは「先住民族の言葉を大

切にすることは、エスペラント運動

と共通のものがある」と語る。

また、ロシアではエスペラント語

が盛んなこともあり、ロシア極東、

中国東北部、朝鮮民主主義人民共和

国(北朝鮮)など日本海をほさんだ

近隣の人びとが対話していくには、

英語よりもはるかに便利だという。

インターネットの普及によって、

いまや英語が国際語になったような

印象がある

が、星田さん

は「それは間

違いだ」と断言する。

世界では、旧ユーゴのような民族

対立が各地で激しくなっている。そ

の解消のため、どの国にもどの民族

にも属さない地球語がより求められ

るからだといふ。

いまインターネットではエスペラ

ント語のネットニュースが発信さ

れ、個人のホームページは教え切れ

ないほどある。二十一世紀こそエス

ペラントの時代だと星田さんたちは

信じている。

北海道新聞 1998年9月26日(土)夕刊(第1面左下)

Heroldo de HEL

第75号(1998.10.8)

北海道エスペラント連盟機関紙

編集部 〒001-0012

札幌市北区北12西1パークMS602

阿部映子気付 備011-756-2291

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟